

# 福祉公社通信



## 11月号

発行日

平成30年11月9日

【第68号(月刊)】

福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

陽光をその身に受けて、秋の嶺に紅葉が美しい季節となりました。11月中旬から下旬にかけ、明け方の最低気温が8度から9度を割ると楓の紅葉が始まるそうです。

すぐそこの初冬の足音に高齢者総合センター近隣の銀杏並木も色づき始めます。皆様には御身お大切にご自愛ください。



### <紙面から>

北町高齢者センター はなみずき祭り	……1ページ
福祉系三団体合同上級救命講習会	
権利擁護センター関係機関等連絡協議会	……2ページ
デイサービス外食会 介護職員初任者研修修了	
社会活動センター講座発表会	……3ページ
お知らせ リレーコラム	……4ページ

## 北町高齢者センター はなみずき祭り

秋の一大イベントはなみずき祭りを10月13日に開催しました。

子育てひろば・みずきっこも共同して、地域の皆様にセンターを知って頂くため、地域交流や世代間交流を目的としました。センター開設の大恩人である山崎浩先生・名誉市民倫子先生のメモリアルルームも開場しました。

当日は31年前の開設当初からセンターを陰に日向に支えて下さっているボランティアの方々、子育て世代のご家族など100名余の皆様がご参加下さいました。

プログラム作品展のコーナーにはご利用者が手作りした各班の素敵な作品が勢ぞろいしました。

手芸班は毛糸で編んだベストや帽子、パッチワークの手提げ鞆など、ひと目、ひと針に心を込めた丁寧な仕上がりの作品を、美術班は紙粘土で作った花籠やかわいい人形、絵手紙のイラスト入りのカレンダーなど、それぞれ味わい深い一点物の作品を展示しました。書道班は自分の好きなひと文字を揮毫し、団扇仕立てにした作品と書き溜めた書を一冊の作品集にしました。

また今回もボランティアの皆様のご協力により、園芸・手芸・美術の体験コーナーを実施しました。クリスマスオーナメント、松ぼっくりのツリー、はなみずきや桜の枝で作ったペンダントなど、親子で楽しげにご参加頂いている姿が、ほのぼのとして印象的でした。また子どもたちは興味津々で、職員の自宅で育て繁殖させた可愛いメダカのコーナーをのぞき込んでいました。

みずきっこは、子供から高齢者まで参加できる魚(お菓子入りの袋)釣りのコーナーや読み聞かせを開いてくれました。

食はお祭りの楽しみの一つです。

ランチセットとして、ハヤシライス・コーンサラダ・ゼリーとチョコバナナを提供しました。

地域の方々やボランティアの皆様のご協力で、今年もはなみずき祭りを無事開催することが出来ました。有難うございました。

今後もセンターが市民福祉の増進に役立てるよう、職員一同、力を合わせて頑張っていきたいと思っております。





## 福祉系三団体 合同上級救命講習会



福祉の現場は、日々、ご利用者の命に直面しているサービス実践です。

ご利用者の生命の尊重は、第一に重んじられることで、職員はそれを肝に銘じてサービスに当らなければなりません。

福祉公社では全職員が上級救命講習を受講し、3年毎に再講習を受けています。

今回、初めての試みとして市の福祉系他団体にも呼びかけ、開催しました。10月18日、北町高齢者センター2階会議室を会場に福祉公社13名、市民社会福祉協議会3名、武蔵野健康づくり事業団1名の計17名が参加しました。



講師は武蔵野消防署警防課防災安全係です。

参加者はこの講習で、心肺蘇生法やAEDの使用方法などの講習と実技を通して、応急手当についての正しい知識や救命技術を習得しました。

参加者の感想は、「救命についてわかりやすく、楽しく受講できました。三団体合同なので情報交換も行うことができました。ぜひ多くの人に受けてほしいと思います」「元救急隊員の体験談を交えた講義と人形を使ったリアルな救命実技の講習で、とても有意義でした」などで、ほぼ1日を講習に費やしましたが、修了後は皆、充実した表情でした。

今後も他団体と手を携え、様々なスキルを身に付け、より良いサービスの提供に努めます。



## 権利擁護センター関係機関等連絡協議会



今年度第2回目となる権利擁護センター関係機関等連絡協議会が9月25日に開催されました。

市の成年後見推進機関として福祉公社もこの協議会に参加しています。

成年後見事業の適正円滑な運営を目的として連絡調整や情報交換を行うことが目的で、弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士・NPO法人等成年後見受任機関、行政関係機関等8者が構成員です。

協議は多岐に亘り、裁判所が意図する監督強化の方向性、これに対し弁護士会は後見制度支援信託の活用を提唱していること、武蔵野三鷹地区の弁護士の連携など、法曹界の事情や各専門職の取り組みや考えが把握できて大変有益です。

また事例検討を行い、「様々な本人事情はあるが、当初からその生活課題、社会課題を可能な限り把握して、その解決に最適な専門職が関わり、職能を十分に発揮することが重要」である旨、確認しました。それらの議論に通底しているのは、本人保護とその利益の確保の視点です。

成年後見利用促進基本計画の担当部署は地域支援課です。

現在、策定に向け調整中ですが、この横断的な連絡協議会の実務者の意見も参考にされます。

福祉公社は、「福祉的身上配慮」のノウハウをサービス開始以来蓄積してきました。それを活用して、これからもご本人に寄り添い、「顔の見える成年後見人等」として、活動する所存です。

そして成年後見制度の利用を、より一層、促進し、市民の皆様が安心して老後生活を送ることが出来るように、力を尽くしてまいります。



## 高齢者総合センターデイサービスセンター ☆ 外食会へ ☆



年に2回開催されている外食会。  
秋の外食会に行って参りました!!  
今回は善福寺公園近くの「木曾路」へ。



肌寒くなってきた季節にはピッタリの「きりたんぼ鍋」をはじめ、キノコやサツマイモの天ぷらなど、秋の味覚を堪能してきました。

美味しいお料理に会話も弾み、「来年もまた来たい!!」とのご感想を多数いただいています。

帰路は、前回大好評だった吉祥寺駅周辺をドライブしてきましたが、車窓から思い出される昔話に花が咲き、笑い声が車内に響いていました。

お腹も心もいっぱいの外食会となりました。



## 介護職員初任者研修 修了

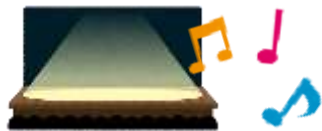
福祉公社はホームヘルプセンター武蔵野を運営し、介護職の派遣や市内の福祉人材の育成を担っています。9月11日に在宅福祉の第一線で活動する介護職員初任者研修が修了しました。修了生は10人でした。

この研修の特徴は、5月から9月までの余裕ある期間に少しずつ学びを進められること、廉価な受講料、修了後一定期間の実務を条件に受講料の8割が遡及して助成されることなどです。

受講者のご感想は、「利用者の残存能力を活かすなど高い技術と工夫（を学んだ）」

「（受講）以前よりもさらに大変な職業だと思う」「介護知識+医療知識+人間的成長が不可欠と感じた」などで、対人サービスの厳しさや専門性を真摯に捉えたものでした。

福祉人材の確保は、全国共通の喫緊の課題です。年々受講者数が減少していることに危機感をもって、これからどう対応するかが福祉公社に求められています。



## 社会活動センター 講座発表会



社会活動センターは、今年から秋のふれあい文化祭に代えて、1階ロビーでの作品展示、前期・後期の講座発表会、茜雲フェスタと銘打ったコンサート、茶会、デイサービス作品展示会を開催することといたしました。

多くの講座が前期・後期制となったこと、年間講座は年度の途中であること、昨年までの秋の文化祭では、後期受講者の発表の場がないこと等が理由です。

9月21日の講座発表会には、フラダンス、ジャズダンス、みんなで歌うポップス、やさしいシャンソン、世界の歌、楽しく歌おう日本の歌、コーラス、ミュージカル体験の受講者の皆様が参加され、日頃の成果を披露なさいました。どの発表からも生き生きとした受講の歓びが伝わり、素晴らしい内容でした。ご来場者は出演者、お客様を含め約150名でした。

ご感想を伺うと、「(今までの)文化祭の時と変わらず気持ち良く歌えた」「舞台上に上がり人前で披露することは、緊張感の中に達成感がある。認知症予防に良い」「拍手をされる経験は日頃ないので、何だかアーティストになった気分」などなどでした。

舞台と会場が一つになって、出演の皆様・お客様共に上気して楽しげな表情が、健康長寿の元と感じられたひと時でした。





# 会社からのお知らせ

## 老いじたく講座 ～ 老いじたくの基礎知識 ～

誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して、尊厳ある老後生活を築きましょう。

日時 11月27日(火)10時30分から12時  
場所 福祉公社 1階会議室



## ～ エンディングノート 書き方講座 ～

想いを記すことは残された人たちへの指針

日時 12月14日(金)13時30分から15時  
場所 市民会館 第2学習室



問合せ 在宅サービス課 権利擁護センター  
申込 ☎ 23-1165 参加費用は無料です。

## 家族介護教室 みどりの輪 ハンドマッサージを体験してみよう!



ハンドアロマセラピストを講師に、リラクゼーション、血行促進を学びましょう。

日時 11月30日(金)13時30分から15時  
場所 高齢者総合センター1階 デイルーム

服装 肘までの腕まくりがしやすい服

持ち物 筆記用具 ハンドクリーム(任意)

参加費 無料

対象者 家族介護に関わる方、関心のある方

問合せ 在宅介護・地域包括支援センター

申込 ☎ 51-1974

## 職員リレーコラム

### 《有難い 茶飲み友達!!》



北町高齢者センター 川島 芳美

千葉の片田舎に、84歳になる叔母が一人暮らしをしている。叔母の日常といえば近所の友達2人が日に3度も!! お茶飲みを訪れる。叔母曰く「うちしか来っとこねえから…」と言うが、顔は嬉しそう。皆、手には「貰い物だから、安かったから…」と野菜や果物を持ち「居るう〜?」と言って勝手に上がってくる。その遠慮がない姿が微笑ましい。「茶葉代が大変なんだよ!!」と、友人の前で言い、お茶を丁寧に入れ、それを美味しくみんなで啜る。日に3度も来るのだから話も尽きるだろうと思いきや…、楽しげにケラケラと笑ってお互い言いたい放題で、そのうえ3人川の字になり昼寝までしていくのである。これが叔母の日常で、気心知れた仲間と過ごすこの時間が、元気の源のような気がする。何かあれば連絡が入り、いつの間にか安否確認が出来上がっていた。遠く離れ電話で叔母の声を聞く私にとって有難い…、『遠くの親戚より近くの他人』である。

⇒ 次回は 高齢者総合センターデイサービス 本橋 久美子

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社 次号は平成30年12月10日発行予定です



### 武蔵野市福祉公社

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車 ☎0422-23-1165

(総務課 権利擁護センター ケアプランセンター)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

### 武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1 バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護・地域包括支援センター

・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

### 武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

バス停「北町四丁目」から徒歩三分

☎0422-54-5300

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>